



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 6 日

上場会社名 株式会社エフピコ

上場取引所 東証・大証 (市場第一部)

コード番号 7947

URL <http://www.fpco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小松安弘

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長

(氏名) 瀧崎俊男

TEL (084)953-1145

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	30,705 (0.7)	1,442 (△18.2)	1,612 (△15.9)	1,020 (△9.3)
19年3月期第1四半期	30,496 (△4.2)	1,762 (37.4)	1,918 (33.6)	1,126 (55.4)
19年3月期	124,233	7,628	8,126	4,515

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	46 80	—
19年3月期第1四半期	51 19	—
19年3月期	206 27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	118,964	51,237	43.0	2,346 54
19年3月期第1四半期	113,324	48,806	43.0	2,218 62
19年3月期	116,232	50,866	43.7	2,329 60

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△1,574	△ 1,728	1,101	6,321
19年3月期第1四半期	△977	△ 1,745	970	6,669
19年3月期	8,413	△ 5,493	△ 2,819	8,522

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	62,900 0.2	3,740 △8.4	3,850 △11.4	2,160 △3.1	99 02
通期	126,000 1.4	8,620 13.0	8,800 8.3	4,900 8.5	224 63

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

* 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加が見られ、雇用環境の改善により個人消費にも拡大の兆しが見られるなど、緩やかながら景気回復傾向が続いております。しかしながら、原油価格は高値圏で推移し、当社製品の原材料価格につきましては、前期以降4回（6～9次）にもおよぶ値上がりとなっております。

このような状況下、当社グループは、トータルコストの削減及び企業体質強化にグループ全体で取り組んでまいりました。原材料価格高騰に対しましては、容器の薄肉化・軽量化に加え、P S（ポリスチレン）からP E Tへの素材変更による材料費の削減、生産技術の向上及び生産拠点の最適化による生産コストの削減、需給バランスの改善などによる物流コストの削減等、あらゆるコストダウンを推し進め、利益体質への変革に努めてまいりました。

当連結第1四半期の製品売上高につきましては、高付加価値製品や新機能製品の開発を行い、品質向上にも努めた結果、前期を上回りました。商品売上高につきましては、引き続き、包装資材等の推奨商品への絞込みと不採算取引の見直しを行い減収となりました。

売上高の科目別構成状況

	20年3月期第1四半期	19年3月期第1四半期	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
製 品	23,072	22,536	536	2.4
商 品	7,632	7,960	△327	△4.1
合 計	30,705	30,496	209	0.7

この結果、当連結第1四半期の連結売上高は、307億5百万円、営業利益14億42百万円、経常利益16億12百万円、連結第1四半期純利益10億20百万円となりました。利益につきましては、前期の第2四半期以降に受け入れました6・7・8次の原料値上による影響が大きく、容器の薄肉化・軽量化、素材切替、物流・生産面での合理化と新製品開発に努めてまいりましたが、減益となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より22億1百万円減少し、63億21百万円（前年同期と比べ3億48百万円減少）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、15億74百万円減少（前年同期と比べ5億96百万円資金減少）となりました。これは、税金等調整前第1四半期純利益16億54百万円と減価償却費10億43百万円、賞与引当金5億47百万円等による資金の増加と法人税等の支払額23億25百万円、売上債権33億16百万円の増加等による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、中部第二工場（仮称）建設及び機械設備等の支出15億61百万円などにより、17億28百万円減少（前年同期と比べ16百万円資金増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、借入金純増による収入16億96百万円等により、11億1百万円増加（前年同期と比べ1億30百万円資金増加）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当初計画では、グループ会社での販売用動産の販売を予定しておりましたが、当会計期間での売却を取りやめることといたしました。

これにより、平成19年5月11日発表の中間期連結業績予想を売上高629億円、営業利益37億円40百万円、経常利益38億50百万円、中間純利益21億60百万円に修正いたします。

当社グループの原材料価格は、6月末に9次値上げの受け入れが決着いたしました。当初、この原材料価格の上昇を10月からと想定しておりましたが、7月より一部でその影響が現れたことに加え、段ボール等その他原材料等の値上により、さらなるコスト増加が見込まれます。この原材料価格の上昇を吸収するため、容器の薄肉化・軽量化に加え、素材切替に伴う材料費の削減を推し進めると同時に、製品価格の値上（平均10%以上）を発表しております。

通期の連結業績予想につきましては、社内合理化等さらなるコスト削減に努めるとともに、製品値上を実施することにより、当初発表しておりました計画に変更はありません。

また、中間期及び通期の個別業績予想についても変更ありません。

なお、今後の原料価格の動向及び製品値上の進捗状況により、計画の見直しが必要となった場合には、適時発表させていただきます。

詳細につきましては、平成19年8月6日発表の「中間期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

たな卸資産については、実地たな卸を省略し継続記録による帳簿たな卸の方法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当第1四半期より、法人税法の改正に伴い、有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

1. (要約) 第1四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結第1四半期末 (平成18年6月30日現在)		当連結第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		対前年比較		前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	増減金額	増減率 %	金 額	構成比 %
(資産の部)								
I 流動資産	53,459	47.2	53,967	45.4	508	101.0	53,883	46.4
現金及び預金	6,718		6,321		△ 397		8,522	
受取手形及び売掛金	30,795		32,145		1,350		29,331	
たな卸資産	12,612		12,392		△ 219		12,468	
その他	3,554		3,256		△ 297		3,718	
貸倒引当金	△ 220		△ 147		73		△ 157	
II 固定資産	59,864	52.8	64,997	54.6	5,132	108.6	62,348	53.6
有形固定資産	46,973	41.4	53,377	44.8	6,404	113.6	51,220	44.1
無形固定資産	1,609	1.4	1,201	1.0	△ 408	74.6	1,300	1.1
投資その他の資産	11,281	10.0	10,418	8.8	△ 863	92.3	9,827	8.4
1. 投資有価証券	3,973		3,933		△ 39		3,941	
2. その他	7,685		6,887		△ 797		6,299	
3. 貸倒引当金	△ 376		△ 403		△ 26		△ 413	
資産合計	113,324	100.0	118,964	100.0	5,640	105.0	116,232	100.0
(負債の部)								
I 流動負債	46,116	40.7	50,665	42.6	4,548	109.9	50,125	43.1
支払手形	2,062		—		△ 2,062		—	
買掛金	16,749		19,284		2,535		18,966	
短期借入金	19,836		20,708		871		20,862	
未払金	2,767		7,073		4,305		5,717	
賞与引当金	1,339		1,388		48		841	
役員賞与引当金	14		17		2		71	
設備関係支払手形	653		—		△ 653		—	
その他	2,693		2,193		△ 499		3,666	
II 固定負債	18,400	16.2	17,062	14.3	△ 1,338	92.7	15,240	13.1
長期借入金	15,616		14,401		△ 1,215		12,550	
退職給付引当金	1,149		1,224		74		1,199	
役員退職慰労引当金	343		677		333		665	
その他	1,291		760		△ 531		825	
負債合計	64,517	56.9	67,727	56.9	3,210	105.0	65,366	56.2
(純資産の部)								
I 株主資本	47,906	42.3	50,381	42.4	2,474	105.2	49,993	43.0
資本金	13,150	11.6	13,150	11.1	—	—	13,150	11.3
資本剰余金	15,487	13.7	15,487	13.0	—	—	15,487	13.3
利益剰余金	19,581	17.3	22,747	19.1	3,166	116.2	22,359	19.2
自己株式	△ 313	△ 0.3	△ 1,004	△ 0.8	△ 691	320.9	△ 1,003	△ 0.8
II 評価・換算差額等	846	0.7	804	0.7	△ 42	95.0	822	0.7
その他有価証券評価差額金	846	0.7	804	0.7	△ 42	95.0	822	0.7
III 少数株主持分	54	0.1	51	0.0	△ 2	95.7	49	0.1
純資産合計	48,806	43.1	51,237	43.1	2,430	105.0	50,866	43.8
負債、純資産合計	113,324	100.0	118,964	100.0	5,640	105.0	116,232	100.0

(注) 当四半期末及び前期末は金融機関の休日であったため、次の末日満期手形が期末残高に含まれております。

	当四半期末	前期末
受取手形	2,385百万円	3,108百万円

2. (要約) 第1四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		当連結第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		対前年比較		前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減金額	増減率	金 額	百分比
		%		%		%		%
I 売上高	30,496	100.0	30,705	100.0	209	100.7	124,233	100.0
II 売上原価	22,411	73.5	23,061	75.1	649	102.9	91,061	73.3
売上総利益	8,084	26.5	7,644	24.9	△ 440	94.6	33,171	26.7
III 販売費及び一般管理費	6,321	20.7	6,201	20.2	△ 120	98.1	25,543	20.6
販売促進費	587		533		△ 54		2,450	
広告宣伝費	36		27		△ 9		338	
支払手数料	203		231		27		855	
運搬及び保管費	2,552		2,511		△ 41		10,221	
人件費	1,518		1,586		67		6,090	
賃借料	350		286		△ 63		1,264	
減価償却費	375		343		△ 32		1,470	
その他	695		681		△ 14		2,851	
営業利益	1,762	5.8	1,442	4.7	△ 320	81.8	7,628	6.1
IV 営業外収益	232	0.8	260	0.8	27	112.0	881	0.7
受取利息	33		25		△ 7		116	
受取配当金	36		48		11		51	
受入手数料	21		18		△ 2		80	
その他	141		167		26		632	
V 営業外費用	76	0.3	90	0.2	13	117.1	383	0.3
支払利息	66		73		7		285	
その他	10		16		5		98	
経常利益	1,918	6.3	1,612	5.3	△ 305	84.1	8,126	6.5
VI 特別利益	17	0.1	50	0.1	33	292.8	802	0.7
投資有価証券売却益	4		—		△ 4		4	
貸倒引当金戻入益	—		10		10		1	
その他	12		40		27		796	
VII 特別損失	44	0.2	8	0.0	△ 35	19.9	1,212	1.0
固定資産除却売却損	1		8		7		339	
たな卸資産処分損	1		—		△ 1		491	
過年度役員退職慰労 引当金繰入額	42		—		△ 42		324	
その他	—		—		—		56	
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	1,891	6.2	1,654	5.4	△ 236	87.5	7,716	6.2
法人税、住民税及び 事業税	952	3.1	636	2.1	△ 316	66.8	3,418	2.8
法人税等調整額	△ 189	△ 0.6	△ 5		183	3.1	△ 227	△ 0.2
少数株主利益	1	0.0	3	0.0	1	211.8	9	0.0
第1四半期(当期)純利益	1,126	3.7	1,020	3.3	△ 105	90.7	4,515	3.6

3. (要約) 第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結第1四半期	当連結第1四半期	前連結会計年度
	自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	1,891	1,654	7,716
減価償却費	960	1,043	4,195
減損損失	—	—	1
賞与引当金の増加額	556	547	58
貸倒引当金の増加額(△減少額)	4	△ 19	△ 22
受取利息及び受取配当金	△ 70	△ 73	△ 168
支払利息	66	73	285
投資有価証券売却損(△売却益)	△ 4	—	△ 4
売上債権の増加額(注)	△ 2,405	△ 3,316	△ 1,177
たな卸資産の減少額(△増加額)	△ 351	76	△ 207
未収入金の減少額(△増加額)	191	606	△ 383
仕入債務の増加額(△減少額)	155	317	310
未払消費税等の増加額(△減少額)	△ 274	75	△ 362
役員賞与の支払額	△ 58	—	△ 58
その他	180	△ 228	1,261
小計	841	755	11,446
利息及び配当金の受取額	69	73	169
利息の支払額	△ 67	△ 78	△ 285
法人税等の支払額	△ 1,820	△ 2,325	△ 2,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 977	△ 1,574	8,413
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 2,060	△ 1,561	△ 7,362
投資有価証券の取得による支出	△ 56	△ 4	△ 79
投資有価証券の売却による収入	19	—	19
短期貸付金の純減少額(△純増加額)	199	△ 21	509
長期貸付金の貸付による支出	△ 337	△ 385	△ 779
長期貸付金の回収による収入	524	216	2,160
その他	△ 34	27	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,745	△ 1,728	△ 5,493
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	△ 1,100	△ 1,800	4,600
長期借入による収入	7,600	5,800	9,600
長期借入金の返済による支出	△ 5,029	△ 2,303	△ 14,769
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 0	△ 692
配当金の支払額	△ 485	△ 592	△ 1,139
更生債務の弁済による支出	△ 11	△ 0	△ 404
その他	△ 1	△ 1	△ 13
財務活動によるキャッシュ・フロー	970	1,101	△ 2,819
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0	0
V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 1,752	△ 2,201	101
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,421	8,522	8,421
VII 現金及び現金同等物の第1四半期(期末)残高	6,669	6,321	8,522

(注) 前連結会計年度は、受取手形の流動化を実施しております。このため、前連結会計年度末の売上債権の増加額には、手形債権の流動化によるキャッシュの入金額 3,002百万円が含まれております。